

まち歩きコンテスト応募作品

下北沢近郊住民にとって生活に密着した環七の円乗院付近から池尻方面に向かう小川のせせらぎが再現された緑道がある。両岸に遊歩道が設置された北沢川があった頃からの桜がその季節には見事に咲き誇り花見客が絶え間ない。この景観は世田谷百景NO.7にも選出され健常者にとっては絶好の散歩コースであることは言うまでもない。はたしてその道は車椅子でも楽しめるのでしょうか？

北沢川緑道を106センチ目線で歩く

2016/12/19 21:00

小田急線世田谷代田駅より環七を大森方面に5分ほど歩く、円乗院横の一番最初の橋、宮前橋が北沢川緑道のスタート地点である。



『北沢川文学の小路』案内看板を横目に寺前橋を越え次の鶴ヶ丘橋の北に世田谷区地域風景資産の『代田の丘61号鉄塔』橋の袂に『鉄塔の由来碑と萩原朔太郎の碑』がある。幾つか架かっている橋が全て違うデザイン、多種の素材で出来ているため見る者を飽きさせない、途中足の不自由な人専用のベンチもありなかなか弱者に優しい。



桜橋を過ぎると鎌倉橋の袂に『三好達治の碑』がある。

この鎌倉橋を一旦離れ南に行き、東演バラータの近くになんと異国情緒のレトロ感たっぷりのカフェ兼インテリア小物セレクトショップ『ハイムツシュ』がある。若干の段差を介助してもらえば内部はBF。一杯ごとにドリップの香りの高い珈琲を味わえフランスともアメリカともアジアともつかない不思議な空間で音楽もこの雰囲気とあいまって妙に落ち着く店である。



再び鎌倉橋まで戻るとすぐに『齋藤茂吉の歌碑』がある。二子橋を渡り橋場橋を越えると『坂口安吾の碑』とともに大田区にあった旧居の門も設置されている。この橋場橋は下北沢に通じる、茶沢通りに架かっている。代沢橋、中下橋を越えると『横光利一の碑』がある。碑は全て車椅子目線である。

プロフィール

車椅子で外出 id:reha

『NPO法人車椅子社会を考える会』

2017年の当会のテーマ『車椅子利用者の外出機会を作ろう』

世田谷区民89万人の内、80歳以上の高齢者5万8千人、身体障害者は2万人

(もちろん全てが車椅子利用ではない。)

自力歩行が困難でも散歩や買い物、食事、旅行、博美術館、コンサートホール、映画館に出掛けたい区民は大勢いるはずである。

ここ数年で電動車椅子、バッテリーの性能がかなり向上したこともあり、今までより外出が楽になったことを皆に広め背中を押そうと思う。

読者登録済み

1

はじめに

車椅子は小学3年生と同じ106センチの目線です。

自然を楽しむにも案内板を読むにも大人の目線と違います。

車椅子利用者のために安全で楽しい、散歩コースと見所を案内します。

コース対象者と対象とした理由

対象者：車椅子利用者とその同行者（1人利用者含む）

家で悶々としている車椅子利用者の外出機会を増やし自然や文化に触れ元気を取り戻してもらおう

コース選定条件と充足感

1. 天気のよい日に四季の自然を満喫できるか？

春の桜祭りを始め紫陽花、百日紅等季節の草花が咲き乱れ、せせらぎには鴨、鯉、小さい魚が泳ぎ小鳥や蝶が飛び蝉、秋の虫の音もうるさいくらい1年中自然を満喫できる。

2. 創造力が掻き立てられ琴線に触れる何かがあり車椅子でも楽しめる？

この付近は田端や馬込文士村について下北沢文士町と呼ばれ『北沢川文化遺産保存の会』により『北沢川文学の小路』とも名付けられ同時に数基の文学の碑も建立されている。そんな小路を約100年前ほとんど同時期にこの近辺を徘徊していた文士達に想いを馳せながら散歩すると想像力が掻き立てられる

3. 途中で休憩の出来るカフェ、食事処、トイレがあるか？→有

4. 鉄道駅からのアクセスが良い。→世田谷代田駅、下北沢



一本橋、稲荷橋、山下橋を過ぎると『せせらぎ公園』と呼ばれるお子さん連れ親子がピクニック気分で持参の弁当を楽しむ小高い丘や、お年寄りがゲートボールを楽しむグラウンド、車椅子用トイレ（単独車椅子では少々狭い）がある。

淡島交差点付近ここが今回の散歩コース終点

お腹が空いたので『食事処おぢや』による、入口段差はなく内部もBF、更にお店の人の『心のBF』があり簡単に着席可、様々な肉、魚のメニューがあり全てに生野菜と目玉焼きが乗っている模様、更に小鉢が二つと具沢山の味噌汁、小鉢の豆腐は冷奴でなくなんと心優しく温豆腐、金額は700円台から800円台とリーズナブル。



- 『晩年この地に移り住んだ朔太郎は14歳下の達治とどんな詩話を交わしたのか？』
- 『青児と千代はどんな恋話をしたのだろう？』
- 『茂吉が歌を詠む時裕而が作曲のインスピレーションを掻き立てたのはどの辺り？』
- 『茉莉の父鷗外との思い出は？』
- 『同い年の達治と汀女は詩や俳句話に盛り上がった？』